

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年9月11日(2008.9.11)

【公開番号】特開2007-274246(P2007-274246A)

【公開日】平成19年10月18日(2007.10.18)

【年通号数】公開・登録公報2007-040

【出願番号】特願2006-96103(P2006-96103)

【国際特許分類】

H 04 N 7/173 (2006.01)

【F I】

H 04 N 7/173 6 3 0

H 04 N 7/173 6 4 0 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月25日(2008.7.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

放送および通信ネットワークを介して送信される情報をそれぞれ受信できる受信機において、

前記放送を視聴しているユーザー向けの広告データを前記情報として、前記通信ネットワークを介して受信できるデータ通信手段と、

前記放送を視聴していると考えられるユーザーを認識するユーザー認識手段と、

放送番組別に、該放送番組の放送時に前記ユーザー認識手段が認識したユーザーを示す視聴履歴情報を保存する履歴保存手段と、

前記ユーザー認識手段が認識したユーザーが単独である場合、当該認識したユーザーを基に広告データ選択する一方、前記ユーザー認識手段が認識したユーザーが複数存在する場合に、前記履歴保存手段が保存した視聴履歴情報を参照して広告データを選択し、当該選択された広告データを前記データ通信手段により取得して表示させる広告表示手段と、

を具備することを特徴とする受信機。

【請求項2】

前記広告表示手段は、前記履歴保存手段が保存した視聴履歴情報を参照して、前記ユーザー認識手段が複数、認識しているユーザーのなかで現在、視聴中の放送番組を過去に視聴していた確率の最も高いユーザーを特定し、該特定したユーザーを基に前記データ通信手段により取得させる広告データを選択する、

ことを特徴とする請求項1記載の受信機。

【請求項3】

放送および通信ネットワークを介して送信される情報をそれぞれ受信できる受信機に実行させるプログラムにおいて、

前記放送を視聴しているユーザー向けの広告データを前記情報として、前記通信ネットワークを介して受信できるデータ通信機能と、

前記放送を視聴していると考えられるユーザーを認識するユーザー認識機能と、

放送番組別に、該放送番組の放送時に前記ユーザー認識機能が認識したユーザーを示す視聴履歴情報を履歴保存手段に保存する保存機能と、

前記ユーザー認識機能が認識したユーザーが単独である場合、当該認識したユーザーを

基に広告データ選択する一方、前記ユーザー認識機能が認識したユーザーが複数存在する場合に、前記履歴保存手段に保存した視聴履歴情報を参照して広告データを選択し、当該選択された広告データを前記データ通信機能により取得して表示させる広告表示機能と、  
を実現させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明の受信機は、放送および通信ネットワークを介して送信される情報をそれぞれ受信できることを前提とし、放送を視聴しているユーザー向けの広告データを情報として、通信ネットワークを介して受信できるデータ通信手段と、放送を視聴していると考えられるユーザーを認識するユーザー認識手段と、放送番組別に、該放送番組の放送時にユーザー認識手段が認識したユーザーを示す視聴履歴情報を保存する履歴保存手段と、ユーザー認識手段が認識したユーザーが単独である場合、当該認識したユーザーを基に広告データ選択する一方、ユーザー認識手段が認識したユーザーが複数存在する場合に、履歴保存手段が保存した視聴履歴情報を参照して広告データを選択し、当該選択された広告データをデータ通信手段により取得して表示させる広告表示手段と、を具備する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】削除

【補正の内容】